

熱さまし用ジェル状冷却シートの使用に注意 —生後 4 ヶ月の男児が重篤な窒息事故—

本年 4 月下旬北海道内において、発熱した生後 4 ヶ月の男児の額に、熱さまし用ジェル状冷却シート^(注1)（以下、「冷却シート」という。）を貼り看護していた母親が、夕食の後片付けのためしばらく側を離れたのちに戻ったところ、冷却シートが男児の口と鼻を塞ぎ、窒息状態となっていた。母親は直ちに貼り付いた冷却シートをはがし、近所に住む看護師に助けを求めた。看護師は、男児が呼吸停止、心拍微弱の状態だったことから蘇生処置を施した。程なくして救急車が到着し病院に搬送された。病院では人工呼吸管理をはじめ、さまざまな治療を施し一命は取りとめたものの、低酸素性虚血性脳症^(注2)が認められた。今後将来にわたり全介助^(注3)が必要なほどの重度な障害が残る可能性が極めて高い。

本件は、主治医から当センターに情報提供がなされ、事態を重く見た当センターは、男児が入院中の病院を訪れ、保護者ならびに主治医から直接事情を聴いた。

当センターは、事故同型品や参考品の粘着力に関するテストを実施するとともに、乳幼児の使用に関する注意表示についても調べた。他にも同様な事故が起こる可能性を否定できないことから、事故の再発防止のため事故の発生を広く周知し、消費者に注意を呼びかけることにした。

(注1)：発熱や歯痛などほてった部位に水分を含んだジェル状の粘着面を貼ることによって、冷却効果が得られることをうたった商品。メーカーにより、「子供用」「ベビー用」「大人用」の種類がある。事故品のメーカーの冷却シートには、「大人用」と「子供用」の種類があるが、事故品は「子供用」だった。

(注2)：低酸素と虚血に基づく脳細胞の障害が起こった状態をいう。意識障害、筋緊張低下、けいれん、反射の異常などの症状を認める。軽症の低酸素性虚血性脳症では後遺症はない場合が多いが、重症では治療にもかかわらず死亡してしまうことや、重度の障害を残してしまうことがある。

(注3)：自力で立ったり、歩いたりすることができず、自分の身の回りのことも介助者の助けが必要。

1. 事故発生前の様子について

(1) 男児の発育状況、発熱の程度

- ・男児は事故の数日前に寝返りが打てるようになった。また、枕の周りにあるもの（タオルなど）に関心を示し、手で触るような仕草をし始めていた。生後 4 ヶ月の乳児として順調に発育していた。
- ・事故の前日より発熱があったが、解熱剤を用いるほどの高熱ではなかった。

(2) 冷却シートの使用経験など

- ・母親は、過去に冷却シートの使用経験は何度もあった（事故にあった男児以外にも子供が

おり、育児経験は豊富)。

- ・事故品の銘柄は今回初めて購入した。
- ・事故の発生1時間前に母親が2枚入りの袋の封を切り、新しい冷却シートを貼った。この際は、冷却シートに髪の毛や眉毛がかかるといけないよう注意して、ぴったりと貼り付けた。額に発汗はなかった。

2. 国民生活センターによるテスト

1) 粘着力

事故同型品及び参考品の「子供用」7銘柄及び「ベビー用」4銘柄の粘着力を調べた。フェノール樹脂の試験板を用いたテストでは、最も粘着力が強かった銘柄を除いて、事故同型品を含め粘着力に大きな違いはなかった。また、参考にモニター(成人男性6名)の額に貼り付けたときの粘着力のテストを行ったところ、試験板で最も粘着力が強かった銘柄は、事故同型品を含め他の銘柄と大差がなくなった。

2) シートの大きさ

事故同型品及び参考品のシートの大きさについて調べた結果、事故同型品は、参考品の「子供用」とほとんど違いはなかった(「5cm×11cm」ないし「5cm×12cm」)。また、シートの大きさが乳児の鼻と口を覆う大きさであるか調べた結果、「子供用」のシートは、個人差はあるものの、乳児の鼻と口を覆うことができる大きさであると考えられた。

3. 注意表示

乳幼児の使用に関する注意表示について調べた。

その結果、事故同型品と参考品の「子供用」7銘柄中6銘柄には、「乳幼児にご使用の際には、保護者監督のもとで、充分にご注意ください。」等と表記され、それぞれのメーカーの「大人用」にも同じ注意表示があった。一方、「ベビー用」の4銘柄中3銘柄は、「乳幼児にご使用の際には、保護者監督のもとで、食べたり口や鼻に貼り付けたりしないよう充分にご注意ください。」等の表示があった。また、「お子さまが勝手にシートをはがすような場合には、テープ等ではがれないように補ってください。」と乳幼児が使用した時のシートのはがれに関する、具体的な注意を記載していたものが1銘柄あった。

4. 消費者へのアドバイス

何らかの原因で冷却シートが額からずれ、口と鼻を覆い、窒息する可能性があることを知り、注意してほしい。

5. 事業者(製造者)への要望

口と鼻が冷却シートで塞がれ、窒息する事故が起きないように、対策を講じてほしい。

例えば、外箱や小分け袋の注意表示に冷却シートが口と鼻に貼り付くと窒息する可能性がある」と盛り込む。シート本体にも「口や鼻に貼り付かないように注意」等と印字するなど。

<title>熱さまし用ジェル状冷却シートの使用に注意－生後4ヶ月の男児が重篤な窒息事故－</title>